桃園第二小学校校舎等整備基本設計(案)

令和7年(2025年)9月 中野区教育委員会事務局子ども教育施設課 中野区立小中学校施設整備計画(改定版)に基づき整備する、桃園第二小学校新校舎及び併設するキッズ・プラザについては、令和5年9月に策定した基本構想・基本計画をもとに、各機能の更なる向上や、設計における課題としていた事項等についての検討を進めてきた。

この度、これらの検討結果を、「桃園第二小学校校舎等整備基本設計(案)」としてとりまとめた。

1 施設配置等

(1) 施設配置

配置図、平面図、断面図のとおり

・児童福祉施設等

○校庭面積

(2) 施設概要

○階数		地上3階、地下1階
○構造		鉄筋コンクリート造
○敷地面積	東敷地	約 5,765㎡
	西敷地	約 2,469㎡
○延べ面積		約 10, 320㎡
東敷地		
・小学校		約 6, 540㎡
西敷地		
・小学校		約 3, 183㎡

・グラウンド(土舗装) 約 2, 172㎡・ゴムチップ舗装等 約 563㎡

約 597㎡

約 2,735㎡

(3) 建築条件等

敷地の概要

項目	内容	
	西側敷地	東側敷地
所在地	東京都中野区中野六丁目 16番(住居	東京都中野区中野六丁目 13番(住居
	表示)	表示)
前面道路	【東】建築基準法第42条第2項道路	【東】建築基準法第42条第1項1号
	道路幅員:4.0m	道路
		道路幅員:4.50~6.00m
	【西】建築基準法第42条第2項道路	【西】建築基準法第42条第2項道路
	道路幅員:約4.0m	道路幅員:4.0m
	【北】建築基準法第42条第2項道路	【南】建築基準法第42条第1項1号
	道路幅員:約4.0m	道路
		道路幅員:4.55m
用途地域	第1種低層住居専用地域	第1種低層住居専用地域
敷地面積	2469. 30 m²	5765. 04 m²
防火指定	準防火地域	準防火地域
容積率	150%	150%
建ぺい率	60%	60%
	(角地緩和+10%、準防火地域内にあ	(角地緩和+10%、準防火地域内にあ
	る耐火建築物等+10%により80%)	る耐火建築物等+10%により80%)
高度地区	第一種高度地区 	第一種高度地区
	N	N d
	1	. /
	0.6	0.6
		- T(
	5m J	5m
	隣地境界線 (または道路の反対側境界線)	隣地境界線 (または道路の反対側境界線)
最高限度高さ	10m	10m
道路斜線	適用距離:20m、勾配 1.25	適用距離:20m、勾配 1.25
北側斜線	立上り:5m+勾配1.25	立上り:5m+勾配1.25
日影規制	範囲 5m~ 4.0h	範囲 5m~ 4.0h
	範囲 10m~ 2.5h	範囲 10m~ 2.5h
	測定水平面 1.5m	測定水平面 1.5m

2 基本設計(案)の視点

児童にとって居心地が良く、多様な学びにも柔軟に対応できる環境を整備 するとともに、地域との交流や連携を推進していく学校施設として整備

(1) 小学校

ア 校舎

- 2敷地に分かれた校舎を安全に利用できるよう上空通路を整備
- 隣地側との見合いを考慮し、高窓(ハイサイドライト)を整備
- 直射日光を和らげるためのバルコニーの整備に加え、西日の影響を緩和させるために、日射遮蔽用のルーバーを整備
- 地域・保護者との連携を進める機能を一体的に整備
- 給食時の効率的な配膳動線を考慮し、給食室と配膳室を整備
- エレベーターは傷病者の搬送時のストレッチャーにも対応できるよう整備
- 東棟、西棟の各階に、車いす利用者等が利用しやすいバリアフリートイレ を整備
- 安全で利用しやすい児童用エントランスを複数整備
- 各学年の活動や学びに応じた利用を想定し、多目的スペースなどの空間を 整備
- 児童用昇降口の正面に桃園第二小学校のメモリアルコーナーとしての利用 や、児童の作品等を展示するスペースとしての活用を想定した桃二ラウン ジを整備
- プールは、周囲からの視線に配慮のうえ配置するとともに、日射対策として日除け膜を整備

イ 校庭

- 地域で大切にしてきた、児童とのこれまでの活動等を踏まえ、土舗装により整備
- 近隣への土埃の対策として、防砂ネット、校庭散水設備(スプリンクラー)を整備
- 運動会の観覧スペースとしての活用も想定したバルコニーを整備
- 遊具や学級菜園を集約することにより、校庭スペースを最大限活用できるよう整備

ウ 外構計画

○ 地域と調和した新たな樹木を植樹のうえ、緑化環境を整備

○ 教育に活用する設備として、学級菜園、水田、ビオトープを整備

(2) 開放用諸室

○ 地域開放を想定した諸室(多目的室、屋内運動場)と学校、キッズ・プラザの出入口を明確に分離するとともに、運営方法や使い方を整理のうえ、配置・動線計画を整理

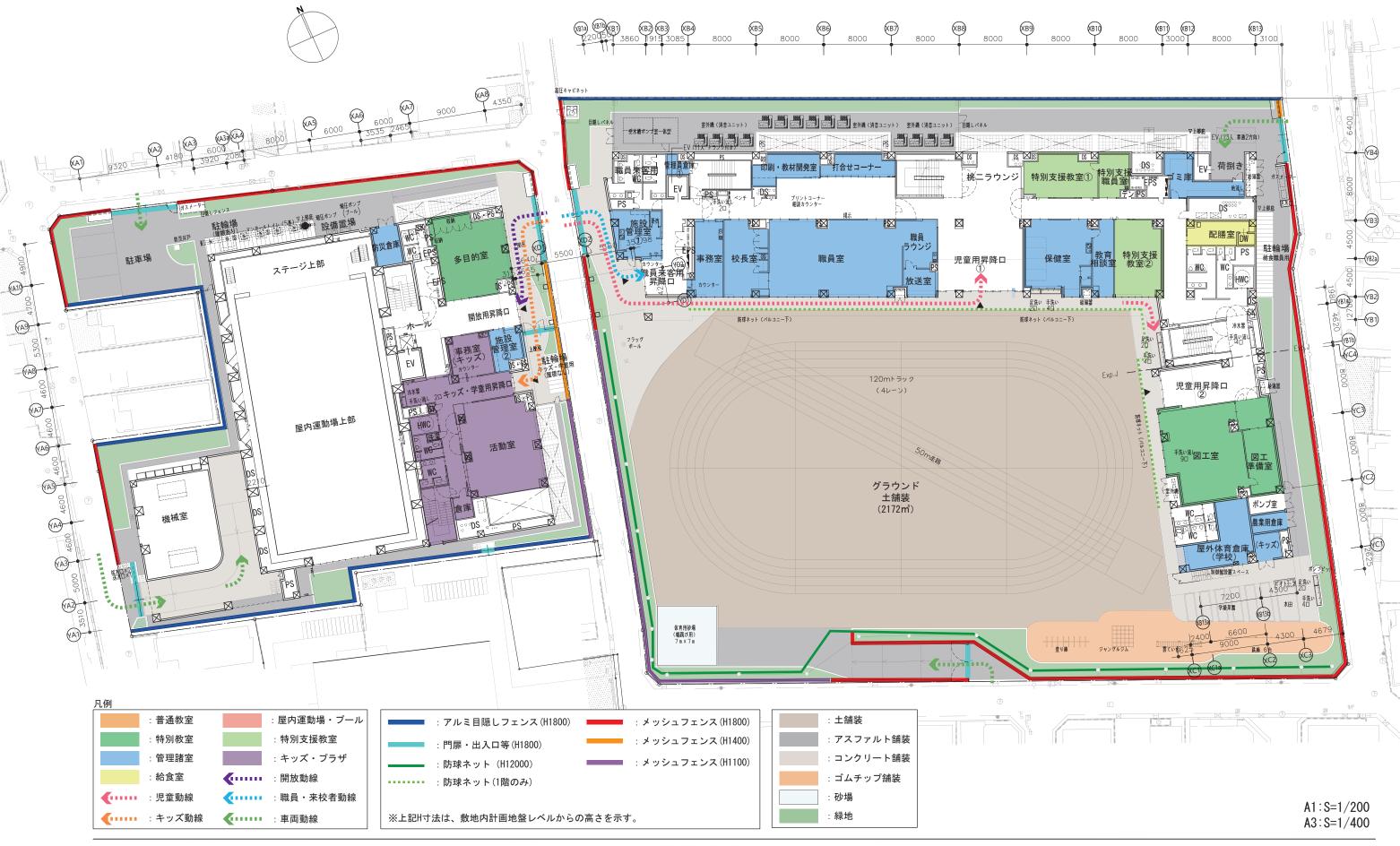
(3) キッズ・プラザ

- キッズ・プラザと学校の出入口を分離のうえ、配置・動線計画を整理
- 屋内運動場を利用しやすいよう配置・動線計画を整理

(4) その他(防災拠点としての機能、環境への配慮)

- 避難所としての機能を踏まえ、備蓄倉庫や防災倉庫のほか、マンホールト イレ、防災井戸を整備
- プールの水は地域の消防水利として利用するほか、マンホールトイレの洗 浄水としても活用できるよう整備
- 平常時のほか、災害時の電源としても活用しうる太陽光発電装置を整備
- 多目的室等に、停電時にも空調や照明が使用可能な電源自立型空調を整備
- 庇、空調負荷を低減できる高機能ガラス(Low-E ガラス)により強い日差し を遮り、熱負荷を軽減するよう計画

平面図(配置図・1階)



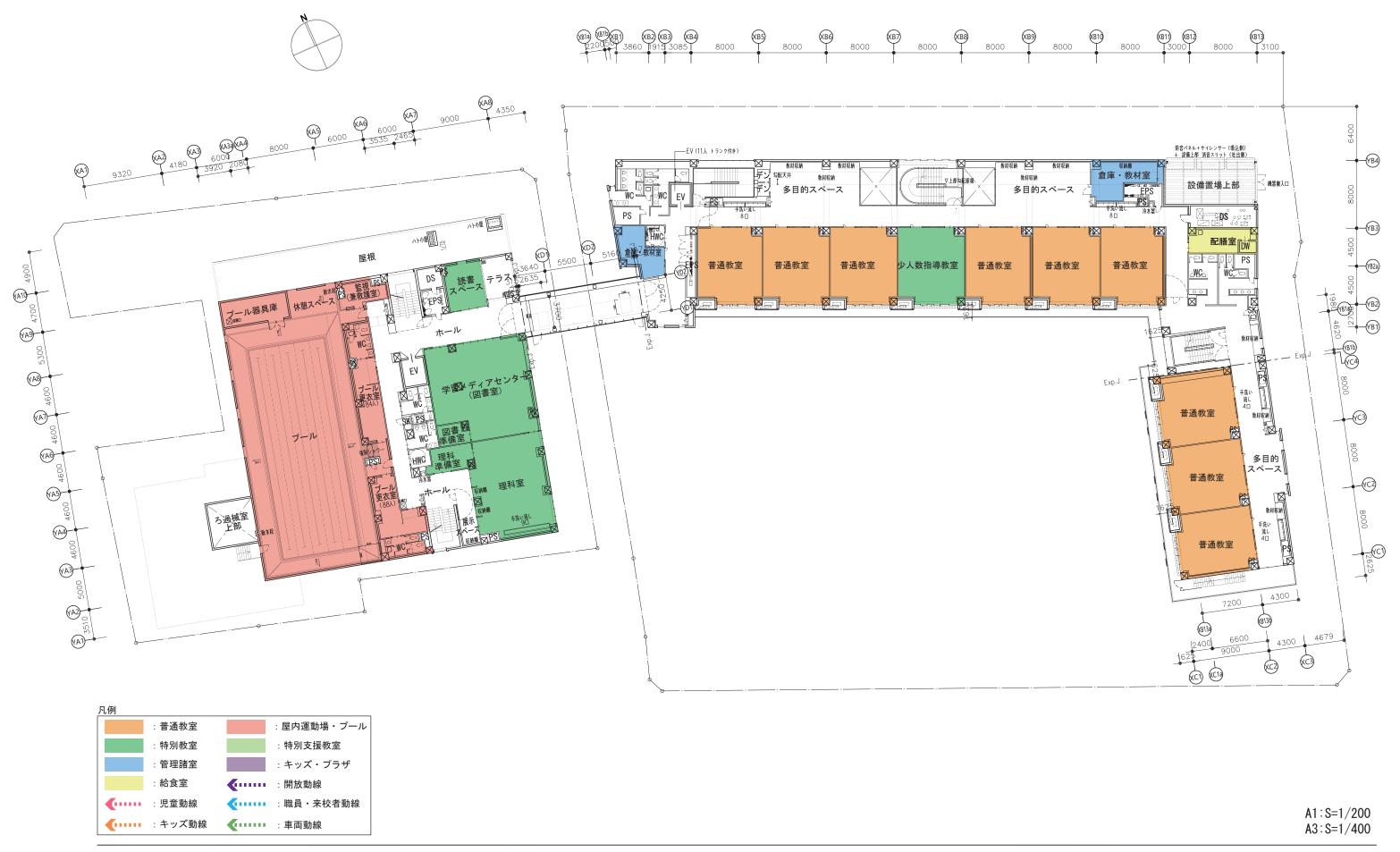
平面図(地下1階)



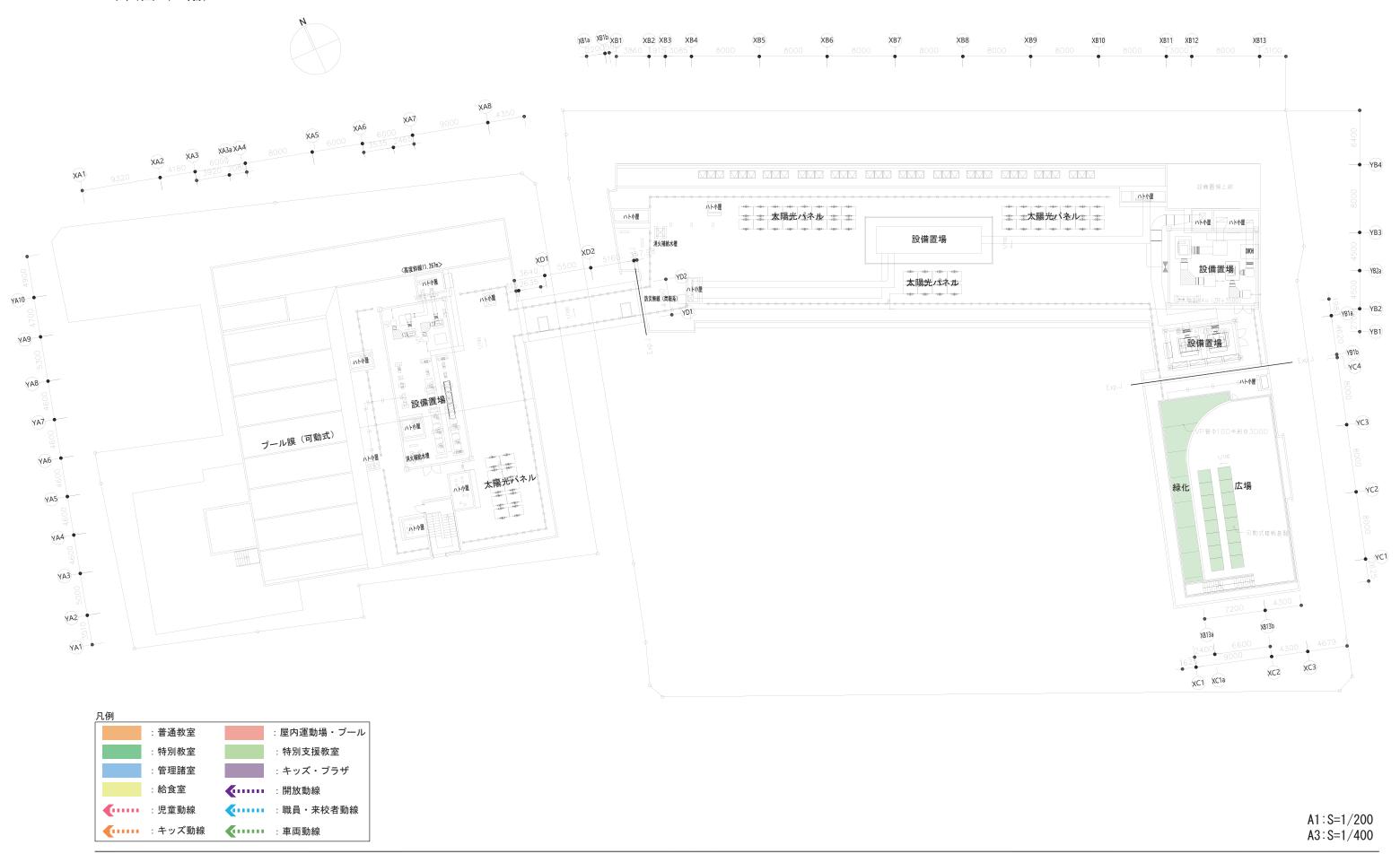
平面図(2階)



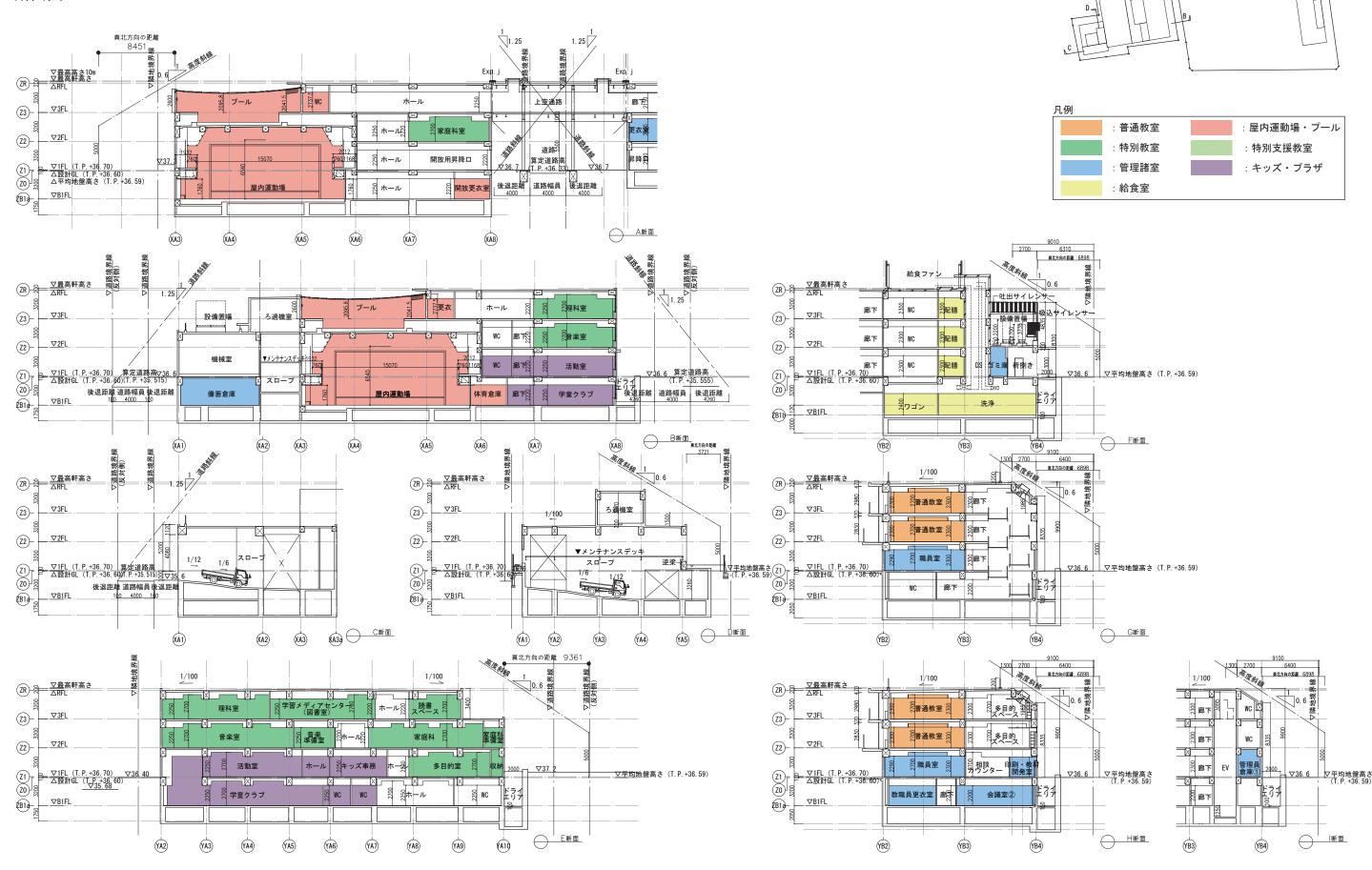
平面図(3階)



平面図(R階)



断面図



A3:S=1/400